

みんなで挑戦、5歳のサラダ巻



## 「今だけ」季節限定の新米の味を堪能

◎新米祭2014

「新米祭2014」は8月31日、道の駅森の三角ぼうしで開催されました。会場では、新米で作ったおにぎりの無料配布が行われ、500個全てがあつという間に終了してしまふほどの盛況ぶり。ゆずサイダーの一气飲み競争や、ジャンボおにぎりの早食い競争など、さまざまなイベントが行われ、会場は大いに盛り上がりました。また今年は、新米を使った「鬼北町一長い?!5歳のサラダ巻づくり」に挑戦。参加者全員で協力して見事に完成したサラダ巻を前に、来場者からは温かい拍手が沸き起こりました。

保育園児も小さな体で力強い戦い



## ぶつかって、耐えて、土俵上の熱戦

◎六地藏奉納相撲大会

8月24日、武左衛門広場で「六地藏奉納相撲大会」が行われました。「日吉地区を伝染病や災害などの災いから守っている」とされている六地藏。うら盆に合わせて、33結びの取り組みを奉納することで、その六地藏への感謝と供養を示すと言ひ伝えられています。今年の奉納相撲には町内の小学生らが多数参加。団体戦と個人戦、そして3人抜き勝抜き戦が行われました。悔しさに涙する子の姿もあるほど、まさに真剣勝負を繰り広げる子どもたち。その姿に、観客からは熱のこもった声援が送られていました。

河川敷で秋の味覚を堪能する来場者



## 秋の夜長に「いもたき」を味わう

◎奈良川河川敷いもたき

9月の毎週金曜・土曜日に奈良川河川敷で、「いもたき」が行われました。期間中は、町内外から予約が殺到。「おいしい」の声がたくさん上がり、大勢の人が秋の味覚に舌鼓を打ちました。また、町内の商店街で使える商品券等が当たる抽選会が行われ、会場が大いに盛り上げました。秋風通る河川敷で過ごす友人たちとのひととき。訪れた人たちの顔には終始笑顔が浮かんでいました。6年ぶりの復活から3年目となる今年。かつて鬼北の秋の風物詩として定着していた「いもたき」が、徐々に賑わいを取り戻しています。

消防署員の指導で心肺蘇生法を体験



## 幼い命のために知っておくべきこと

◎救急イベント「知っていますか?小児救急」

9月6日、近永公民館2階講堂で救急イベント「知っていますか?小児救急」が開催されました。これは、9月9日の救急の日に合わせて、鬼北消防署主催で行われたもので、約90人が参加。「小児救急の初期対応について」と題した講演では、旭川荘南愛媛病院副院長の堀内伊作先生が、症例ごとの対処方法について、ていねいに教授しました。また、鬼北消防署員の指導で、小児の心肺蘇生法の体験が行われ、胸骨圧迫やAEDの使い方の実習を実施。参加者らは高い関心を持ち、熱心に取り組んでいました。